



学生生活 Campus SEIJO

社会イノベーション学部特集号

No205



CONTENTS

新しい風 社会イノベーション学部創設	2~3		
イノベーター紹介	4~5	くらぶ通信 - スポットライト -	13
学年末定期試験について	6~7	アメリカンフットボール部 / 華道部	
試験に関する注意 試験が受けられなかった場合		成城祭2004	14~15
就職活動支援	8~9	第55回四大学運動競技大会	16~17
平成16年度学部別主要内定企業 平成15年度学部別主要内定企業	10~11	Campus Seijo News	18~19
黎明 (めーあ・りひと)	12	Campus Seijo Information	20~24
新しい発見がつけつける疑問に、 社会イノベーションが答える。		編集後記	24

～・新しい風・～

「社会イノベーション学部」創設

日本初の「イノベーション」という言葉を学部名に冠した「社会イノベーション学部」が来年度創設されることになりましたが、「今いる学生にとって…」というコンセプトで学部長に就任予定の村本 孜 経済学部教授にお話を伺いました。

まず、素朴に「イノベーション」とは何かということが、みなさんの一番知りたいことだと思うのですが…。

——— そうですね、「イノベーション」というと、

国語審議会は「技術革新」と訳し、行政では「経営革新」と、狭い範囲で言い換えています。私達ももっと広く、技術・科学・経営の革新だけではなく、環境・文化・人間…、トータルに社会の新しい価値を創造していく、求めていくのが「イノベーション」だと考えています。ですから、誰かが何かをしてくれるのをただじっと待つのではなく、価値の創造者であるイノベーターとして、社会の中の問題を発見して解決できる、変革を考えられるような人材を育成する学部にしたい、というメッセージを込めて「イノベーション」という言葉を新学部名に冠したわけです。

中国語では、「創新」という訳語を当てています。さすが漢字文化の魁という気がします。

——— 新学部創設の背景として、

20世紀までの日本は、キャッチアップ型経済で、欧米先進諸国に追いつき追い越せと、目指すものに向かっていきさえすれば発展していくことができたわけですが、いまやフロントランナーになってしまっているので、その発想や姿勢では通用しなくなっているのが現状です。かつては先行事例を模倣・理解し、応用する力が必要でしたが、今や横断的なものの考え方ができる力、色々な知見を総合的に活用できる力、頭の中の引き出しがいくつもあって、どんな状況にも対応できる人材が求められています。

ですから、これからの21世紀の日本が、持続した発展をしていくためには、「イノベーション‘力’」を持った、自分の頭で考え、自分で構想を描き、それを発信できる人間が必要不可欠になってくるわけです。

このイノベーションの生成には、国の政策、企業の活動、人間の心理や行動、社会や文化など多くの領域が関係してきます。今現在でも、それらは個々に研究されていますが、社会イノベーション学部では、これらの領域を総合的かつ融合的に学ぶことで、それぞれを繋ぐ架け橋となって、21世紀社会をリードしていく人材の育成することを目的としています。

具体的には、どのようにしてその「イノベーション‘力’」をつけていくのでしょうか？

——— 社会イノベーション学部は、

政策系の学部で、政策イノベーション学科、心理社会学科で構成されます。この2つの学科は緊密に連携し、イノベーションに対する理解と実践的な問題解決能力を養うことを目的としています。そのため、単に現在の状況や既存の知識を理解するだけではなく、知識を学ぶと共に、双方向の対面型の授業つまり議論を通じて自主的に問題を発見・分析し、そして解決を見出すプロセスを重視します。一人ひとりが主役となるような問題志向型の教育を実践します。

——— それには、やはり学生の個性を生かさなくてはなりません。



社会イノベーション学部長 村本 孜 (就任予定)

—— 成城大学の伝統を受け継ぎ、個性尊重、少人数教育を行います。

社会イノベーション学部でも少人数教育を行っていきます。少人数のグループにわけ、その中で自分の役割を認識し、実際にその役割や個性を発揮できるような能力を身につけてほしいと思うからです。もちろん、人前で話すのが得意ではない学生もいるでしょう。文章でものを伝える、ITで伝える、国際的な場面を想定すれば英語を使って…と、未来の舞台は無限大に広がっていくわけですが、最初からうまくいくわけではないのですから、一つ一つ、志を共にする仲間、教員・学生ともの考え工夫していくという授業を用意しています。それを蓄積させていけば、一言あるいは二言いえるようになることから始まり、情報を発信する能力へと育つのです。情報発信ができて、自分なりの考え方を持てれば、それはすなわちイノベーターとしての可能性を秘めた人間といえるのではないのでしょうか。情報発信は苦手な人でも、イノベーターの発信を受け止め、正しく理解することができれば、イノベーションの広がりを作ることになるでしょう。

さて、それでは今いる学生にとって、社会イノベーション学部はどのように関わっていくのでしょうか？

—— 今後は、学部同士の連携が、社会イノベーション学部を含めて、

いっそう深まると思います。学部間の垣根を低くして、教養教育や外国語教育を共通カリキュラムにし、これまで以上の充実をはかっていくことも企画されています。社会イノベーション学部は、既存の経済・文芸・法の3学部と短期大学部からそれぞれ教員が移って教員組織を作り、多くの新しい講義を既存学部の先生方をお願いしました。まさに、オール成城の色合いがありますが、これがきっかけとなって意識も変わっていくと思いますし、学生の異動も活発になるかもしれません。

—— また、内にも外にも開かれた学部を目指していますので、

どんどん授業を見に来てほしい。履修することが無理でも、興味があれば聴講しに来てほしい。もっともクラス単位で行う語学の授業への参加は難しいと思いますが、できるかぎりいつでもいらっしゃいという態勢をとっています。

外へ向かっては、他大学や官民の研究機関との相互交流、企業へのインターンシップなど、実社会の現場からの教育も導入していきますので、そのノウハウも情報として蓄積し、学部内に留まらず成城大学全体の財産にできるようにしていきたいと思っています。

—— 履修登録も全てweb登録にする準備を進めています。

既存学部に先駆けて、履修登録も全てweb登録にすることに決めました。今の時代、パソコンは道具として必要不可欠なものです。習うより慣れるという発想で、入学当初からパソコンをあたりまえのものとして、ペンやパソコンと同じように使ってもらおうということです。

新しい価値を創造していく…、それは今までやったことのないことにチャレンジしていくことでもあるので、社会イノベーション学部は、成城大学に新しい風を吹かせていきたいと思っています。学園の創始者の沢柳先生は、成城学園自体をチャレンジとして考えておられたのですから…。

来年の4月が楽しみになりました。今日はいろいろなお話をありがとうございました。

社会イノベーション学部

～・イノベーター紹介～

来年の4月からスタートする社会イノベーション学部の専任教員の方々に、予定されている専門ゼミの内容もしくはは現在興味をもっていることなどを教えていただきました。なお、カギ括弧内は、担当予定の科目名です。



政策イノベーション学科 < 政策コース 戦略コース

村本 孜 教授 「金融システム論」

イノベーションを実現するには、企業家の進取の心構えや新しいアイデアが必要ですが、それを事業化する上での資金の裏付けも重要です。企業に対する資金の供給が、金融機関をはじめ機関投資家、そして個人投資家に担われる必要があります。そこで、ゼミでは金融機関の問題、ベンチャーキャピタルやエンジェルの問題、それを取り巻く金融システムの問題などを取り上げます。資金の流れを作り出す仕組みを種々の観点から考え、合わせて金融システムの今後の課題やグローバル化との関連なども検討し、もう1つのプレーヤーである個人・家計の金融問題を検討します。

篠原 光伸 教授 「企業評価論」

イノベーションの実行主体である企業の持つ潜在的能力をどのように評価するのかということを考えています。一般に企業の評価は売上高であるとか、利益額、利益率であるとか、その活動の結果生み出された財務成果により評価されます。しかしそれは結果に過ぎません。それを生み出す源泉については何ら考慮されていません。イノベーションを生み出す企業内部の経営要因、すなわち非財務的経営要因にも注目した企業評価が必要不可欠です。ゼミナールでは伝統的な財務諸表分析の諸手法について学ぶとともに、少し数学的な多変量解析法を利用した企業評価モデル、キャッシュフローを用いた企業価値評価モデルについてまず考えていきます。そしてバランストスコアカードを始めとする定性的経営要因を考慮した諸種の企業評価モデルについて学習し、企業における知的資産の評価という問題についてもステイクホルダーの立場から考えていきます。

手塚 公登 教授 「現代企業論」

現代の大企業の組織や戦略について、ミクロ経済学の理論をベースに体系的に分析し、企業の成長や革新（イノベーション）はどのようにして達成されるのか、その結果、消費者や社会に対してどのような影響を及ぼすのかといった問題を具体的な事例を採り上げながら検討していく予定です。日々の新聞やテレビの経済ニュースを学生自らが興味と関心をもって考え、判断を下すことができるような知識と能力の取得を目指したいと考えています。

大隈 宏 教授 「グローバルガバナンス論」

ゼミでは、<厳しく、しかし楽しく>をモットーに、国際社会を舞台として繰り広げられる諸問題を、皆さんと一緒に検討（議論）するつもりです。具体的には、国連、世界銀行、IMF、WTO、EU（欧州連合）、AP EC（アジア太平洋経済協力会議）、安全保障、テロリズム、経済摩擦、発展途上国問題、政府開発援助（ODA）…等をテーマとする予定です。なお、「外交フォーラム」という国際問題を専門とする月刊誌の2004年12月号に、写真入でゼミの紹介が行われていますのでご覧ください。雰囲気がかかると思っています。

大家 亮子 教授 「地域政策論」

イノベーションの担い手である地域とその構成員である市民・行政・企業についての地域政策に関係するテーマを勉強します。生活圏である「地域」の中で市民が暮らしの課題にどう対応し解決していくかを考えます。具体的には、「住宅」、「まちづくり」、「産業振興」、「環境」、「福祉」の諸領域を相互に関連させ体系的に学びます。地方分権化の波の中、市民と企業と行政の協働の「暮らし」づくりが話題になっています。地域サービスの担い手となる行政の地域運営のあり方、地域振興における地元企業の役割もみていきます。

加藤 敦宣 助教授 「研究開発管理論」

現代企業の本質は製造業、サービス業といった業種に関わらず、イノベーションの推進にあると考えています。製造業の場合には、特に新製品の開発に直結する研究開発活動が企業の命運を決するものであるといえます。ゼミナールでは、この企業の行う研究開発活動を経営戦略の視点から考えていきます。今日、高い業績を収め続ける企業は、的確な市場性を備えた、獨創性に富む、他に比類のない製品を、次々と世に送り出しています。そして他社の追跡をものともしない高い研究開発力こそ、市場における競争優位性を獲得する源泉となっています。そこで優れた研究開発力を持つ企業が、どのようにして市場との好循環を生み出しているのか、その仕組みを具体的な多くの企業の事例から考えていきます。我が国の活力に満ち溢れた企業について、いっしょに考えていきましょう。

斎藤 忠志 教授 「英語」

他の国にはない、アメリカ独自の分野であるアメリカ南部文化・文学の研究を続けていますが、最近では、ドキュメント写真（特に1930年代という不況の時代に撮られた写真）や、音楽（ジャズやブルースなど）、さらには1911年、カリフォルニア州の小さな田舎町であったハリウッドに初めて撮影所が造られ、出発したアメリカ映画にたいへん興味を持っています。

田中 陽子 教授 「体育」

大学生の身体意識、健康・体力の自己評価、日常生活、運動・スポーツへの参加状況など各項目との関連について、質問紙法調査により研究しています。また、高齢者を対象とした調査から食習慣と健康・体力・運動との関連について検討しています。

ただいま、ドイツスポーツ大学ケルンにて、リハビリテーションスポーツについて研修中です。

Dennis Riches 助教授 「英語」

本号12頁の黎明（めーあ・りひと）をご覧ください。和訳は、ホームページに掲載しています。

心理社会学科 < 心理コース 社会コース

都築 幸恵 教授 「パーソナリティ論」

パーソナリティ心理学、カウンセリング心理学、異文化心理学の領域の文献（主に英語）を読み、討論や実習を交えながら理解を深めます。パーソナリティ心理学では、代表的な心理テストについて、その背景となっている理論を学び、科学的にどの程度信頼できるか、実際にどのように活用されているか等について検討します。また、カウンセリング心理学・異文化心理学の分野では、代表的なカウンセリングの諸理論を学び、米国におけるケーススタディを読み、日本人の思考法や価値観と比較する等、文化と心理との関わりについて検討します。

野島 久雄 教授 「認知心理学」

人は、あることを学び始め、そしてそれに詳しくなり、習熟する。このプロセスを熟達（expertise）と呼びます。このゼミでは、認知科学における近年の熟達研究の進歩を踏まえて、人が学び・熟達し・成長するとはなにかを考えます。参加者は、なんらかの特定分野（たとえば英会話、資格試験、スポーツなど）を各自選び、自分が成長する過程を例題として、人が学びうる存在であること、そして、学ぶためには技術があることを学んでほしいと考えています。

平井 康大 教授 「宗教社会論」

現代社会において自然科学が急激に発展する一方で、宗教は依然として影響力を持ち続け、新たな宗教運動が誕生しています。ある宗教は教祖の死後も長く存続する一方で、ある宗教はすぐに消えています。またある宗教は社会から否定される一方で、ある宗教は社会を変革する力にもなり得ます。宗教は時代の産物であると同時に、新たな社会を生み出す原動力ともなってきたのです。主にアメリカを舞台として、宗教と社会のダイナミズムを学んでいきたいと思えます。

宮沢 栄次 教授 「環境社会論」

環境問題が容易に解決されそうにもないのはどうしてでしょうか。わかっちゃいるけどやめられないという、私たち1人ひとりの心の弱さが原因なのでしょうか。経済成長なし経済競争最優先路線に沿って構築された社会があまりにも強固であるからでしょうか。いずれもあるでしょう。しかし、意外に多くの人が頑張っているのも事実です。そのような、いわば身近なイノベーションとも言うべき事例を学びそして調べましょう。

村田 裕志 教授 「社会システム論」

「社会システム論」は社会学のみならず社会科学全般を見渡す視点をもつ考え方です。社会学理論の伝統にもつき自然科学の発想も取り入れ、人間行為のミクロ分析からマクロな社会諸領域の相互連関の考察にいたる広角な視野をもっています。現代の日常生活の理解と計画および文明論的な想像力がかねあわせた社会システム論的思考をゼミナールで学ぶことは、あなたの将来の仕事や人生を充実したものにするとおもいます。

山田 直巳 教授 「日本社会文化論」

日本の社会とその文化はどのような仕組みと相互関係によって成り立っているのだろうか。その疑問に対して、様々な立場や方法、考え方をもってアプローチするのがこのゼミです。「恥の文化」を例にとれば、「恥」と感じる社会行動はその文化によってコントロールされます。社会や文化の変化、それに関わる社会行動やその心理、そしてそこに現れる様々な<形>、それらを総体として捉えてみよう」と計画しています。

古川 良治 助教授 「メディアイノベーション論」

私たちの生活は、もはやメディアなしで考えることはできなくなっています。その中で、携帯電話、インターネット、デジタル放送等の新しいメディアは、私たちのパーソナルなコミュニケーションから人間関係や社会のありかたにまで影響をあたえつつあります。ゼミナールでは、こういった問題について多角的な視点から文献を読む他、心理学的な実験や社会調査などの実証的研究を行っていきます。

小澤 正人 助教授 「中国社会文化論」

20世紀末に始まった中国の変化は21世紀に入っても続いており、日本にとっても中国はあらゆる面で無視できない存在となっています。中国と日本は隣接し、歴史的な関係も深く、文学や料理などの中国文化も日本人にとってなじみの深いものですが、同時に中国は日本とは異なった部分が多い隣国でもあります。このゼミではそんな「中国」を理解することを目的にしています。現在に到る歴史や伝統的な文化・社会などを中心に、「中国とはなんなのか?」といったことを考えてゆきたいと思っています。

新垣 紀子 助教授 「ヒューマンインターフェイス論」

日常生活の中で、人はさまざまな困難に出逢います。すぐ道に迷ってしまう、新しい機械の使い方がわからない、情報検索が苦手など、さまざまなタイプのオンチがあります。オンチの人とそうでない人は何が違うのでしょうか?そこには、人の知識の形成やそれを囲む環境のデザインの問題が隠されています。このような日常の素朴な疑問を手がかりにして、人の認知・問題解決過程、道具のデザイン、ヒューマンインターフェースの評価などに取り組みます。

櫻井 一彦 教授 「生物進化と多様性」

オトシブミ科甲虫の産卵習性を、比較行動学の立場から研究しています。この仲間の多くの種の雌成虫は、葉に切る、噛む、折る、巻くなど幾種類もの複雑な動作を行い、平らな葉から円柱状などの立体的な構造物を作り上げます。作成過程の行動を手がかりに、葉などの外界の対象物を彼らがどのように認識しているかを、さらに世界中のオトシブミ連の行動を比較しその習性の進化を明らかにしたいと考えています。また、落葉広葉樹の雑木林などの2次林と人間の関わりにも関心を持っています。

平井 正子 教授 「英語」

イギリス・ルネサンスの演劇、特にシェイクスピアを研究しています。イギリスの演劇の歴史を振り返ってみると、いつの時代にも人々を喜ばせると同時に、社会のさまざまな力と密接に結びつき、それが引き起こす緊張がまた演劇の大きな力ともなっています。かかれた台本があるものの、演劇の持つ生命は本質的に文字に残すことはできません。歴史を通して演劇がどのように人々にとらえられ、記録として残されてきたかを探るのが目下の課題です。

川村 晶彦 専任講師 「英語」

日本では「must = 'have to」と教えられることが多いですが、何かを頼まれて、「自分には他にやらなくてはいけない用事がある」と断りたい。そんな時にこの2つを間違えて使うと大変な誤解を生むことがあります。なぜでしょう。このように具体的な場面との関わりで言語を研究するのが応用言語学の語用論と呼ばれる分野です。私は、こういうコミュニケーションに役立つ情報を教育や辞書に活かそうと研究に励んでいます。ちなみに、あなたの辞書はこの疑問に答えられますか。

《素朴な疑問・質問・e t c.》

- 既存学部でゼミをお持ちの先生は、社会イノベーション学部にも異動しても、現在のゼミを担当して下さるのですか?
A n s . もちろんです。ゼミ以外の授業を兼務する先生もたくさんおられます。
- 語学・議論・発表…と能動的な授業が多く、少人数での授業となると、学業でつまずいた場合に、逃げ場がないように思うのですが…
A n s . そうなんです。そこをなんとかフォローできないかという知恵を出し合い、いつでも教員が誰かいて、気楽に相談できるような学生のたまり場を作る計画をしています。
- 「社会イノベーション学部」は、長くて呼びにくいですがよね…
A n s . 素敵な略称・愛称が、自然発生的につくことを望んでいます。

学年末定期試験について

～一年間の勉強の成果が問われます～実力を発揮できるよう健康にも留意を～

実施期間：2005年1月17日（月）～29日（土）

試験時間割掲示日時および場所：1月8日（土）午前9時／1号館学生ホール内掲示板 《教務部》

試験に関する注意

～以下の注意事項をよく読み、各自健康管理に十分留意し試験に臨んで下さい。～

① 試験に関する連絡は、掲示で行います。

掲示したことは、学生諸君が全員知っていることとして扱われますので、常に1号館学生ホール内の掲示板を注意して見て下さい。

定期試験時間割は、ホームページでもパソコンから閲覧（携帯不可）できますが、あくまでも補助として利用して下さい。

時間割変更・試験の参照許可物などの情報は、学生ホール内の掲示板にて学部ごとに行います。

② 受験できる科目は、履修登録している授業科目のみです。

間違いのないよう、必ず各自、「履修科目確認表」で履修科目を確認して下さい。

③ 試験時間は原則として60分です。

科目によって、60分以外で実施されることがありますので、試験時間割表で必ず確認して下さい。

④ 試験場には定刻までに入室して下さい。

試験開始前に、説明・注意などがある場合がありますので、時間に余裕を持って入室するよう心がけて下さい。

遅刻者は、試験開始20分以降は入室を認めません。

また、試験開始後30分以内に退室することはできません。

定期試験時間割

1時限	9：15～10：15
2時限	10：30～11：30
3時限	11：45～12：45
4時限	13：30～14：30
5時限	14：45～15：45
6時限	16：00～17：00
7時限	17：15～18：15

⑤ 学生証は受験時も必ず携帯して下さい。

試験場では、本人であることが確認できるよう必ず学生証を机上に置いて下さい。

⑥ 机上に番号が貼られている座席指定の教室は、

入室の際、教室の入口で係に学生証を提示して座席番号カードを受け取り、該当番号の席に着席して下さい。

また、他の教室で机上に「着席不可」のシールが貼られた席には着席できません。

⑦ 携帯電話・PHS等は、必ず電源を切

ってから入室して下さい。学生証・筆記用具・持込許可参照物以外は、カバン等に収納して下さい。また、携帯電話を時計として代用することは禁止です。

⑧ 持ち込み参照物

(試験時間割と同時に、許可された科目を発表します)の、「ノート」については担当者により「自筆ノート」と指定される場合があります。また、「六法」については特別な指示がない限り、判例・解説付きのもの、書き込みがあるものは持ち込み禁止です。

⑨ 答案用紙の氏名欄および出席

カードは原則としてペン書きです。
(鉛筆不可) 無記名の答案は無効です。

⑩ 答案用紙の試験場からの持ち出しは禁止です。

⑪ 不正行為をした者は学則により処罰されます。

試験が受けられなかった場合

不測の事故または病気などのために試験が受けられなかった場合には、「追試験受験願」を提出することができます。（「追試験受験願」提出資格を参照）

この願書は、学生部または就職部を経て、教務部学務課に提出しなければなりません。この手続きで受験資格が認められたことを受けて、教務部学務課が、授業科目担当者に追試験実施の有無を問い合わせ、追試験実施の回答のあった科目についてのみ試験を実施します。

「追試験受験願」提出要領

「追試験受験願」提出資格

欠席理由	必要書類など	経由部署
1. 病気およびケガ	診断書	学生部
2. 忌引	保護者または保証人の届出書	学生部
3. 交通機関の遅れ	遅延証明書	学生部
4. 就職試験当日 (試験にかかわる資格試験も含む)	出席証明書：用紙は就職部で配布	就職部
5. その他	厚生補導委員会および教務委員会で正当と認められた事項	学生部

※病気などで、本人が受験願を提出できない場合は、代理人による提出を認めます。ただし代理人は「追試験受験願」「必要書類」と共に、委任状を教務部学務課に持参して下さい。

① 左記の提出資格を確認の上、必要書類を持って、経由部署に来室し、「追試験受験願」の用紙を、欠席した受験科目数分受け取って下さい。

② 受け取った用紙に、必要事項を記入の上、経由部署に提出し、承認印を受けて下さい。

③ 承認印を受けた「追試験受験願」を2月1日（火）16時30分までに教務部学務課に提出して下さい。

よくある質問 FAQ1

「学生証を忘れてしまった！」
「でも、テストが始まってしまう！」
「どうしよう！」

すぐに、学生部にきて下さい。
受験許可証を発行します！

家を出るときに、学生証を確認しましょう。

よくある質問 FAQ2

「電車が遅れて遅刻した！」

試験開始20分以内の遅刻なら、受験できます。それ以上の遅れになるようなら、受験できないので、最寄りの駅で、遅延証明書を必ず受け取って、追試験の手続きをして下さい。ただしバスやタクシーの場合、遅延証明書は発行されません。時間の余裕を持って来て下さい。

よくある質問 FAQ3

「寝坊して試験を受けそこねたんですけど…」
「時間割を間違えたんですけど…」
「追試験受をけられますか？」

駄目です！ 理由になりません。

そういうことが起こらないよう充分注意して下さい！
時間割や教室の変更がある場合もあるので、必ず掲示を自分の目でチェックしましょう！

よくある質問 FAQ4

「六法にメモ書きをしてあるのですが…、消さないとカンニングになりますか？」

カンニングとみなされます。

その他、不許可参照物を、机の上に置いておくことも不正行為とみなされます。

必要のないものは、カバンの中にしまいましょう。

就職活動支援

動いた人だけにチャンスがやってくる就職活動。

「もう遅い」と決めてしまうのは時期尚早。常に積極的に動きましょう！

《就職部》

学部3年生・短期大学部1年生の方へ

就職活動がまもなく本格的に始まりますが、準備は進んでいますか？

特に自己分析・筆記試験等の対策は、今のうちにとっておくとは今後の活動がスムーズにできるので、先延ばしにしないで早めに取り組みはじめることをお勧めします。

また、就職活動をする中では、なるべく視野を広げて多くの企業・業界を研究することをお勧めします。なぜならば、私たちの普段の生活の中では限られた企業・業種としか接触がないため、自ずと受験企業が、特定の範囲内に集中する傾向があります。しかし、社会にはたくさんの職業があり、皆さんが知らない世界にも魅力のある企業がたくさんあるからです。

知らない世界を知る方法として、インターネットは手軽で時間がかからない良い方法といえますが、直に体感する方法としては、積極的にOB・OG訪問をする、学内合同企業セミナーに参加するなど、多種多様な就職活動があります。

就職活動についてわからないことがあれば、気軽に就職部まで相談に来てください。

学部4年生・短期大学部2年生及び専攻科の方へ

平成16年度の就職活動支援の総括としては、国内に業績の回復が見られ、新卒採用数の減少傾向にも歯止めがかかり、あるいは増員計画と明るさも見られた年ではありました。しかし、企業の厳選採用方式は変化することなく、みなさんにとっては、厳しい就職活動だったのではないかと推察します。

その中で進路先が決定した方は、就職部に「就職先（進路先）内定届」を提出して下さい。就職先の内定決定者だけでなく、進学先（大学院、専門学校等）、留学、不就職等の進路が決まっている方も含まれます。既に進路が決まっているにもかかわらず、未提出の方は至急就職部に「就職先（進路先）内定届」を所定の用紙（窓口）に常備にて提出して下さい。皆さんの協力により得た貴重な就職情報は、今後の就職データとして後輩のために大切に活用させていただきます。

また、現在、就職活動を続けている方も焦らず、着実に進めてください。近年は通年採用を行っている企業は徐々にではありますが、増加の傾向にあり、学生にとってはメリットと言えます。自分が今後長期にわたり勤める会社ですから、十分に研究し、納得のいく就職活動を行ってください。インターネットを使っての就職活動も結構ですが、就職資料室には企業から求人が毎日届いています。ぜひ活用してください。

就職資料室について

就職資料室では、就職活動中の学生諸君のために最新の求人情報（求人票、セミナー・説明会の掲示等）を公開しています。

また、パソコンも20台用意しています。是非とも足を運んでみて下さい。

開室時間

平日 8時30分～18時

土曜日 8時30分～13時

個人情報保護法について

平成17年4月より個人情報保護法が施行されます。これに伴い、OB・OG訪問等の就職活動に支障がでることが予想されます。

就職部としては、施行後もスムーズな就職活動ができるよう、対応策を模索していきたいと思っておりますので、みなさんもご協力をお願いします。

学内合同企業セミナーについて

就職部では、平成17年1月31日から2月4日迄の5日間、7号館地階ラウンジを利用して、企業の学内合同企業セミナーを開催いたします。

今年度は午前・午後各20社ずつ5日間、幅広い業界より約200社にお越しいたします。参加企業に関しては、年明けから就職部掲示板にて随時お知らせします。

内容としては、採用担当者が参加学生に個別に企業内容を説明し、また学生からは、会社の事業内容や具体的な仕事、社風や欲しい人材等についてなど、知りたいことわからないことを聞くことができる距離に近い面接形式のセミナーとなっています。

企業研究において、採用担当者と個別に話しを聞けるチャンスは多くありません。また、この時期は、学外においても企業・業界合同の説明会は開催されていますが、他大学の学生も多数参加するため、ゆっくりと話を聞くことは難しいようです。過去の卒業生のなかにはこのセミナーで出会った企業に就職した方もいらっしゃいます。時間が許す限りなるべく多くの企業にふれ、参考にしてください。

このセミナーに参加する企業は、成城の学生を採用したいという意向をもっていただくことをご理解ください。

なお、参加希望者は当日、直接会場にお越しください。時間内での出入場は自由となっています。事前予約は必要ありません。

平成17年度学内資格講座開設について

就職部主催の学内講座も発足から4年目を迎えます。今年度はついに公務員講座の受講者から国家Ⅱ種に最終合格者が出、また、マスコミ講座受講者からもテレビ局・出版社等への内定者が出ました。

来年度もさらに工夫を重ね、受講者の皆さんの希望が現実のものとなるよう、努力してゆく所存です。

学内講座の原則「学外の同水準のものより安く」
「可能な限り学習効果を追求」
は今後も変わりません！

平成17年度開講予定の講座

1. 公務員試験対策講座（国家Ⅱ種、地方上級向け）
2. 日商簿記3級・2級合格講座
3. 宅地建物取引主任試験対策講座
4. TOEIC対策セミナー
5. マスコミ就職対策講座

（ラインアップは変更の可能性があります）。

開講時期は、平成17年5月～6月前後の予定です。

詳細は、掲示・DM・ホームページ等でお知らせします。

年間スケジュール

4	第1回 自己発見レポート（1～3年対象） 模擬面接（4年生対象）
5	学内資格講座説明会
6	学内資格試験講座開講 第2回 自己発見レポート（1～3年対象）
7	アナウンサー希望者ガイダンス 就職プレガイダンス
8	インターンシップ
10	第1回就職ガイダンス 教員採用試験ガイダンス ミニガイダンス 就職準備対策講座（SPI試験対策編） 就職準備対策講座（自己分析編） 就職活動体験発表会 第3回自己発見レポート（低学年対象）
11	第1回就職模擬試験 学内企業研究セミナー 就職準備対策講座（エントリーシート対策編）
12	就職準備対策講座（面接対策編） 就職準備対策講座（マナー編） 学内企業セミナー 女子学生就職準備セミナー （ファッション編・メイク編） ミニガイダンス 第2回就職模擬試験
1	模擬面接
2	第2回就職ガイダンス 学内合同企業セミナー 第3回就職模擬試験 OB・OGセミナー ミニガイダンス
3	ミニガイダンス

就職情報の詳細はホームページに掲載

HPのトップページ「在学生」をクリック！

<http://www.seijo.ac.jp/>

平成16年度学部別主要内定企業

経済学部	
企業名	内定者数
(株)東京三菱銀行	6
(株)オリンパス	3
東急リバブル(株)	3
みずほフィナンシャルグループ	3
三井住友海上火災保険(株)	3
エヌイーシーソフト(株)	2
(株)JALスカイ東京	2
積水ハウス(株)	2
(株)テイケイシー	2
東京海上日動火災保険(株)	2
(株)東京都民銀行	2
トステム(株)	2
日本興亜損害保険(株)	2
日本生命保険(相)	2
(株)ノーリツ	2
(株)ノヴァ	2
(株)フォーバル	2
三菱証券(株)	2
ユーエフジェイつばさ証券(株)	2
東京電力(株)	1

文芸学部	
企業名	内定者数
ソフトバンクBB(株)	4
SMBCフレンド証券(株)	3
みずほフィナンシャルグループ	3
(株)JALスカイ東京	2
全日本空輸(株)	2
ダイキン工業(株)	2
東京海上日動あんしん生命保険(株)	2
(株)東日本銀行	2
(株)三井住友銀行	2
(株)資生堂	1
(株)ジェイティービー	1
積水ハウス(株)	1
第一生命保険(相)	1
大和証券(株)	1
東京急行電鉄(株)	1
凸版印刷(株)	1
日本銀行	1
日本興亜損害保険(株)	1
三菱信託銀行(株)	1
(株)ヤクルト本社	1

平成15年度学部別主要内定企業 (平成16年3月31日現在)

経済学部	
企業名	内定者数
積水ハウス(株)	4
住友不動産販売(株)	3
(株)東京三菱銀行	3
みずほフィナンシャルグループ	3
SMBCフレンド証券(株)	2
岡三証券(株)	2
警視庁警察官	2
(株)京葉銀行	2
タカラスタндарт(株)	2
大日本印刷(株)	2
大和証券(株)	2
大和ハウス工業(株)	2
ダイワボウ情報システム(株)	2
野村證券(株)	2
富国生命保険(相)	2
三井不動産住宅サービス(株)	2
(株)三井リハウス東京	2
三菱信託銀行(株)	2
三菱電機ビルテクノサービス(株)	2
(株)横浜銀行	2

文芸学部	
企業名	内定者数
(株)ジェイティービー	4
日本航空(株) 客室乗務員	3
みずほフィナンシャルグループ	3
三井住友海上火災保険(株)	3
(株)三井住友銀行	3
アデコ(株)	2
(株)エイチ・アイ・エス	2
(株)損害保険ジャパン	2
第一生命保険(相)	2
大和ハウス工業(株)	2
(株)東急コミュニティー	2
日本ヒルトン(株) ヒルトン東京	2
明治安田生命保険(相)	2
(株)和光	2
大塚製薬(株)	1
小糸製作所(株)	1
(株)静岡銀行	1
全日本空輸(株) 特定地上職	1
(株)電通	1
(株)ノエビア	1

※内定者数については、平成16年10月31日現在、内定届を就職部に提出した数字を掲載しています。 《就職部》

法 学 部	
企業名	内定者数
(株)ユーエフジェイ銀行	4
(株)京王百貨店	2
(株)東京三菱銀行	2
(株)トゥモローランド	2
野村證券(株)	2
みずほフィナンシャルグループ	2
ユーエフジェイツばさ証券(株)	2
(株)伊勢丹	1
三共(株)	1
(株)ジェーシービー	1
(株)損害保険ジャパン	1
東海旅客鉄道(株)	1
東武鉄道(株)	1
日本通運(株)	1
富士通(株)	1
(株)三井住友銀行	1
(株)三越	1
明治安田生命保険(相)	1
森永製菓(株)	1
山之内製菓(株)	1

短期大学部（専攻科含む）	
企業名	内定者数
城南信用金庫	5
(株)東京三菱銀行	4
(株)プリンスホテル	4
(株)三井住友銀行	3
(株)伊勢丹	2
(株)マルイファッションナビ	2
三井不動産住宅リース(株)	2
小田急電鉄(株)	1
オリンパス(株)	1
コーチジャパン(株)	1
国内信販(株)	1
(株)JAL-DFS	1
太陽生命保険(株)	1
(株)ディーシーカード	1
日邦薬品工業(株)	1
日本生命保険(相)	1
日本通運(株)	1
(株)横浜銀行	1
理化工業(株)	1
(株)菱食	1

法 学 部	
企業名	内定者数
住友不動産販売(株)	3
日本興亜損害保険(株)	3
国民生活金融公庫	2
埼玉県警察官	2
積水ハウス(株)	2
(株)全日警	2
大和ハウス工業(株)	2
(株)ニトリ	2
パソナ(株)	2
みずほフィナンシャルグループ	2
三井住友海上火災保険(株)	2
(株)伊勢丹	1
(株)小田急百貨店	1
警視庁警察官	1
東急リバブル(株)	1
(株)東京三菱銀行	1
日本精工(株)	1
ハウス食品(株)	1
(株)三井住友銀行	1
三菱信託銀行(株)	1

短期大学部（専攻科含む）	
企業名	内定者数
(株)はまぎん事務センター	4
(株)アルティア	3
城南信用金庫	2
スターツ(株)	2
(株)プリンスホテル	2
渡辺パイプ(株)	2
(株)イマジカ	1
カルソニックカンセイ(株)	1
川崎信用金庫	1
(株)ぎょうせい	1
積水ハウス(株)	1
(株)セルリアンタワー東急ホテル	1
(株)電通	1
東京電力(株)	1
トヨタ自動車(株)	1
日本生命保険(相)	1
日本放送協会	1
バイオニア(株)	1
(株)三井住友銀行	1
(株)ワコール	1



社会イノベーション学部設置準備委員会
助教授 リчес デニス

Character flaws: *weaknesses* or *disabilities*?
New discoveries force the question.
Social innovations will give the answers.
by Dennis Riches <riches@seijo.ac.jp>

めーあ・りひと

黎明



性格的な欠点は、弱さや障害なのだろうか？
新しい発見が見つける疑問に、
社会イノベーションが答える。
リчес デニス

Since I joined Seijo University this year as a full-time member of the Faculty of Social Innovation, many people seem to be wondering what this term "social innovation" means, so I would like to take this opportunity to explain my interpretation of it with an example.

An innovation is a new idea, method, or device, or the introduction of something new, so social innovation is the introduction of new values, laws and social structures. You might wonder why social innovation is now important enough to be the focus of a new university faculty. The answer to that question is that the rapid pace of discoveries is forcing important changes on society, so social innovation has become a topic that we need to study seriously.

There are many examples of rapid technological change, but here I would like to consider the social implications of some new drugs that have been discovered. They present dilemmas that could be material for futuristic science fictions, but they are actually in use already. The dilemma is that our culture has always placed a high value on self-discipline, fair competition, hard work and individual responsibility, but newly discovered drugs force us to reconsider the meaning of these values. There are now drugs to stop cravings for food and nicotine, cure performance anxiety and depression, and improve memory and the ability to pay attention. In other words, the things which we used to consider personal weaknesses and challenges can now be easily overcome with pills.

Humans have always used drugs to change their mental state, but these drugs were always illegal and dangerous to health. The new drugs for the mind are legal, highly effective and without the harmful effects of illegal drugs. In some countries, these drugs are already available to anyone who can convince a doctor that he needs them. The patient might be someone who is very sick, or a person of average mental health who just wants to do better than average. The people who want these drugs say they have mental disabilities that are just like physical disabilities, so they want the right to compete equally in education and in careers. They say that people who can succeed without the drugs just have the good luck of being born with good genes. They are not morally superior to the unlucky ones.

In any case, competing for a better life in society is not an Olympic event. If people insist on taking these drugs, there will be no way to check their blood and urine on a daily basis. Besides, if one country tries to stop the use of such drugs, other countries will allow them and they might have smarter, happier and more productive people. The society that keeps its traditional values may fall behind economically. Or it may not. If unhappiness is cured with a pill, is the unhappiness really gone? As an old saying goes, the man who is smiling may not really be happy, and the man who is crying may not really be sad.

We have always believed that character traits such as pessimism, anxiety, poor attention and laziness are weaknesses that successful people overcome by hard work and development of strong character, but these new medicines force us to completely reconsider our judgments. Are we going to call some people "weak, unintelligent and lazy" or "disabled"? The answer to this question will come in the form of new laws, social mores and beliefs. Most people are not aware that society is heading into such new territory. Future advantages will go to the people who are aware of new discoveries and their implications, and this is how you could think of social innovation as an essential field of study in the new century.

～・和訳は、http://www.seijo.ac.jp/students/gakusei/misc/stu_mag.html でご覧になれます。～

(題字は書道愛好会 小田朋未 文2D)

アメリカンフットボール部



三部昇格を目指して「トゥ！」(伊勢原にて)

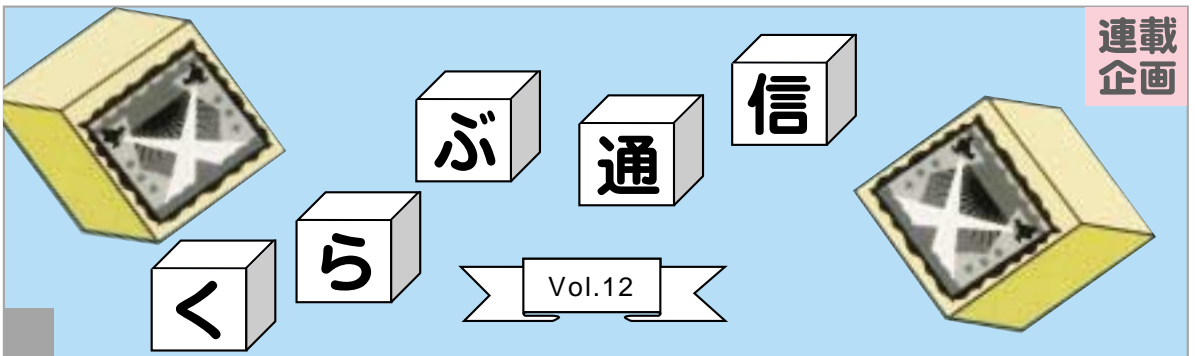
こんにちは、アメリカンフットボール部です！
 普段私たちは、校舎から少し離れた第二グラウンドで練習を行っています。
 部員は現在32名。アメリカンフットボールをする上では、決して多いとはいえない人数で活動しています。

現在は秋のリーグ戦の真最中です。春と秋に試合があるのですが、今年の春の試合では一勝もできなかったため、悔いの残る結果となってしまいました。春のような悔しい結果を残さぬよう、日々練習に励んでいます。
 去年のリーグ戦では、リーグ優勝はできたものの、入れ替え戦で惜しくも敗れ、エリアリーグ残留という結果に終わりました。今年目標は、リーグ優勝プラス、入れ替え戦勝利、三部昇格です。

アメリカンフットボールというスポーツは、ルールが複雑で難しいというイメージがあり、みなさんにはあまり馴染みがないかもしれませんが、一人一人の個性・頭脳・技量と組織力を必要とする総合的な素晴らしいスポーツです。そのようなスポーツを通して、部活という場を「人間形成」の場とすることもでき、生涯忘れられない貴重な経験ができると思います。

少しでも我が部を理解してもらうために、三号館前の文連坂入り口にOrange Beams (チームのニックネーム) の看板も立てました。ホームページも開設しています。是非、私たちの勇姿を見に、試合会場へ足を運んでください！！入部・見学も随時OKです。トレセンの地下部屋にいらしてください！お待ちしております！

主将 池田 論 (経4J)
 副務 越水陽子 (文4C)



学園祭の展示の様子。手前の華は合作です。

華道部

「ただいま部員増殖中！」

こんにちは、華道部です。ご存じない方もいらっしゃると思いますが、華道部は、今年度学園祭アワード、展示部門で1位をいただくことができました。これも、春に部員が増え、着実にパワーアップしているひとつの結果ではないかと部員一同喜んでいます。

現在、華道部は新入生13名を迎え、部員17名で活動をしています。

ところで、そもそも「華道なんて古臭くて暗い！」なんて思っている人、いませんか？ 私達、おほらりゅう小原流のお華は、洋風なものを多く取り入れ、明るく、

現代的に活かしています。ワイングラスにだって活けるんですよ。また、部員のほとんどが大学に入ってから始めた人ばかり。男性部員6名だって活躍しています。主な活動は、月3回のお稽古と6月祭、学園祭の展示です。先生は外部からお呼びしています。のんびり、ほんわか、癒されたい人、まだまだ部員を募集しています。日本文化が気楽に学べますよ。免許も取れます。興味を持たれた方はぜひ、文連ハウス4階部室へ。



柴田先生に指導を受ける4年の三谷君。

会計 のりこ倉田寛子 (文2B)



グロリオサの赤を引き立てて活けてみました。

成城祭2004

11月1日～3日は成城祭！

今年の大学祭は「Are 遊 Ready?」をキャッチフレーズに掲げ、準備に準備を重ね当日を迎えました。

大学祭が行われた3日間ともに、天気がよく、絶好の大学祭日和でした。なんと今年の大学祭の延べ来場者数は2万人を超えました。

今年は、来場者の方に心置きなく大学祭を楽しんでいただけるように様々な工夫をしました。中庭特設ステージで行われたステージイベント以外にも文化部連合本部と協力して実施したスタンプラリー、雄弁会主催による講演会、体育部連合会本部との合同企画など様々な団体と協力して魅力的なイベントを数多く行いました。

また、各号館の装飾、各号館での大学祭紹介映像の放映、フェイスペインティング・ネイルアート等の無料体験など新しい試みをしてみました。

1年間、大学祭を行うために活動している我々、大学祭実行委員会ですが当日たくさのお客様に足を運んでもらえて本当にうれしかったです。大学祭へ足を運んでいただいたお客様、参加していただいた参加団体の皆様、協力していただいた学校職員の皆様方、本当にありがとうございました。

大学祭実行委員会 委員長 大山 翔司(経済3年)



前夜祭

11月1日(月)

今年の前夜祭は、「どん！と響く前夜祭」をテーマに大学祭に出展する団体さんがPRを兼ねて舞えや踊れやの大騒ぎ！

夜のお祭りならではの、大がかりな照明に演出されて、中庭の特設ステージめいっぱいダンス部・放送部・チアリーダー部・広告研究会など、9つの団体さんの華麗なダンスパフォーマンス、そしてコントなどが次々に繰り広げられました。

また、外部からお招きした創作和太鼓エンターテイメント集団「いぶき」の皆さんが、男4人の和太鼓パフォーマンスの生ライブでエンディングを飾り最高潮に！



ウォーターボーイズTRショー

11月2日(火)



トレーニングセンター
地下屋内プールにて

体育部連合会本部との合同企画として、映画やドラマ、お台場冒険王などで日本中を沸き上がらせたウォーターボーイズが成城大学トレーニングセンターにやってきました！

2回に分けて行われた公演はそれぞれ満員となり、迫力のある演技に観客の皆さんも酔いしれていた模様。

また、トレーニングセンター体育館ではチアリーディング部や合気道部、空手道部によるパフォーマンスも行われました。

来年度以降も体育部連合会本部との連携を図り、今年度非常に好評だったこのような合同企画を、一層魅力的なイベントとして皆さんにお届けできればと考えております。

Are **遊** Ready?

セイン・カミュ氏講演会 11月2日(火)

講演会に今年度はなんとセイン・カミュ氏が登場！ セインさんによる英会話講座や、トークコーナーではプライベートの話まで飛び出し意外な一面を知ることが出来ました。



主なイベント

11月1日
開会式
前夜祭

11月2日
音楽祭
演芸祭
中夜祭
ウォーターボーイズTRショー
セイン・カミュ氏講演会

11月3日
ナビ祭
後昼祭
演武会
後夜祭
フリーマーケット
小宮山洋子氏講演会
ミスキャンパスコンテスト

後夜祭 11月3日(祝)

後夜祭では「光と音の共演」をテーマに、中庭全体がまるでクラブハウスのような雰囲気包み込まれ、熱いステージが繰り広げられました。

特に注目度を集めたのが、タップダンス、ゴスペル、軽音楽部のスペシャルコラボレーション！

軽快な音楽に華麗なタップ、そして美しい歌声の調和に酔いしれつつ、3日間の祭典は幕を閉じました。



大学祭ができるまで

1月	3月	6月	9月	10月	11月	
新体制スタート	スローガン決定 新歓活動	代表者会議 イベント概要決定	代表者会議 イベント詳細確定 パンフレット制作	代表者会議 イベントリハーサル期間 装飾準備 2号館看板設置	代表者会議 中庭配置換え 機イス大移動 ステージ組み 2号館看板設置	大学祭当日



管理課や学生課のご協力の下、実行委員一同でステージを組んだり、看板や横断幕を設置します



参加団体代表者会議で参加手続きの案内などを行っています



大学祭パンフレット



10月中はリハーサルや備品作りに追われる日々...



誌面制作：大学祭実行委員会 情報宣伝局長 折戸 克洋（経済3年）

第55回 四大学運動競技大会



「成城生」の和を広げていこう！ 四大戦推進局長 小川浩太

今大会では、前大会に引き続き伊勢原総合グラウンドで屋外予選を開催し、予選運営を円滑に進めるとともに、試合会場の質の向上に努めてまいりました。初の試みとしては、一般種目出場選手向けの壮行会を開催しました。

また、体連本部からの一般種目出場選手への応援の気持ちを込めて、本部員が作成し、学長先生をはじめ、教職員の方々、学生など成城に関わる多くの人々がメッセージを書いてくださった横断幕を全会場に掲げました。

今年度は、これらの活動を通じて、各選手の意識の向上や「成城」という大きな枠組みでの連帯感を高めるということに重点を置いて活動してきました。来年度は我が成城での開催です。私は、今年の試みを来年も継続し、来年こそは得点という形で結果を残して欲しいと強く願っております。

正式種目得点表

	成城	学習院	成蹊	武蔵
アイスホッケー	1.5	2.5	1.5	2
アメリカンフットボール	1	3	2	4
駅伝(男)	1	4	2	3
駅伝(女)	2	4	1	3
弓道(男)	1	3	4	2
弓道(女)	3	4	2	1
剣道(男)	1	3	4	2
剣道(女)	1	4	3	2
硬式庭球(男)	2	4	3	1
硬式庭球(女)	2	4	3	1
硬式野球	3	2	1	4
ゴルフ	1.5	2.5	2	1.5
サッカー	3	1	2	4
自動車	1.5	2.5	2	1.5
柔道	2	1	4	3
水泳	4	2	1	3
水球	2.5	2	1.5	1.5
スキー(男)	1	3	4	2
スキー(女)	2.5	2	1.5	1.5
漕艇	1.5	2.5	2	1.5
卓球(男)	1.5	2	2.5	1.5
馬術	1.5	2.5	2	1.5
バスケットボール(男)	1	4	2	3
バスケットボール(女)	3	4	2	1
バレーボール(男)	1	3	2	4
バレーボール(女)	1	4	2	3
バドミントン(男)	2	3	4	1
バドミントン(女)	1	3	4	2
ハンドボール	1.5	2	2.5	1.5
フィギュアスケート	—	—	—	—
ホッケー(男)	1.5	2.5	1.5	2
ホッケー(女)	2	1.5	1.5	2.5
洋弓(男)	2	4	3	1
洋弓(女)	4	1	3	2
ヨット	1	3	4	2
ラクロス(男)	2	4	1	3
ラクロス(女)	1	3	4	2
ラグビー	2	3	4	1
陸上競技	1	4	3	2
合計	68	109.5	94.5	80.5
順位	4位	1位	2位	3位

一般種目得点表

	成城	学習院	成蹊	武蔵
硬式庭球D(男)	3	2	4	0
硬式庭球D(女)	2	3	4	0
硬式庭球(混)	0	3	4	2
サッカー	0	4	3	0
ソフトボール(男)	3	4	0	0
ソフトボール(女)	2	3	1	4
卓球(男)	1	2	3	4
卓球(女)	2	3	1	4
卓球(混)	4	3	1	2
軟式庭球(男)	3	2	0	4
軟式庭球(女)	4	2	0	3
軟式庭球(混)	0	2	3	4
軟式野球	0	4	3	2
バスケットボール(男)	0	2	4	3
バスケットボール(女)	1	3	4	2
バドミントン(男)	0	4	2	3
バドミントン(女)	3	4	1	2
バレーボール(男)	2	3	4	0
バレーボール(女)	2	3	4	0
合計	32	56	46	39
順位	4位	1位	2位	3位

総合得点表

	成城	学習院	成蹊	武蔵
総合得点	100	165.5	140.5	119.5
総合順位	4位	1位	2位	3位

教職員種目得点表

	成城	学習院	成蹊	武蔵
硬式庭球	1	2	4	3
ソフトボール	1	4	2	3
バレーボール	1	2	3	4
合計	3	8	9	10
順位	4位	3位	2位	1位

一般学生の応援も熱が入ります。
~~~~~  
女子駅伝スタート





## ガン・バレ・成城!!

— 四大戦見聞抄 —

学生部長 上野英二

第55回四大学運動競技大会。於武蔵大学。

四大戦で我が成城大学は永らく総合で3位をキープしてきたが、昨年は4位に転落した。今年も10月の本大会を待たず、正式種目ではすでに敗色濃厚だった。「一般種目ではまだ可能性があります」。その声に励まされて、学生部長として初めて四大戦に臨んだ。

しかし案の定、結果は惨敗だった。正式種目第4位、一般種目第4位。総合第4位…。しかし、結果と成果とは自ら別のものである。惨澹たる結果とは裏腹に、大きな成果をドッサリ抱えて、私は成城に帰ることとなった。

四大戦最終日。四大戦のクライマックスは駅伝競争にあると言う。三日間の熱戦の最後を飾って男子の部の号砲が鳴った。幸先よく、成城は2位に就いた。しかし例のお定まりだろうか、成城は次第に差をつけられて行った。

第二走者は、坪井巨樹、バドミントン部主将。小兵坪井、スタミナが続くか少し心配だったが、彼は急に生じた欠員を補うため、急遽助っ人を買って出たのだと言う。タスキを受け取って、コースに消えた坪井。しかし、いつまでたっても彼は一周目の周回を終えた姿を見せることはなかった。その間、他大の選手は次々と通り過ぎて行く。一体どうしたのだろうか。不安になりだした頃、やっと坪井の姿が見えた。しかし、その顔は苦痛に歪んでいた。必死に痛みをこらえている様子だった。それもそうだろう。彼はバドミントンの選手として、すでに5試合で奮闘、最早疲労困憊であったのだ。にもかかわらず、彼はピンチタワーを買って出たのであった。バドミントン部の主将として、体連本部員として、フレッシュマン・キャンプや伊勢原スポーツデイにおいて、皆のために率先して働いていた彼にとって、チームのピンチに臨んで、これを黙って見過ごすようなことは出来なかったのだと思う。歯を食いしばって、坪井は駆け抜けて行った。

二周目。坪井はなかなか姿を見せなかった。彼を知る誰もが、一方でその体調を心配し、一方でその健闘を祈りつつ、彼の姿を待っていた。やっと坪井が姿を現したとき、その表情はやはり苦痛に歪んでいた。期せずして坪井コールが起こった。「ガン・バレ・坪井!! タッ・タッ・タタタ!!!」…。その嵐の中、彼は無事タスキを渡してそのまま倒れこんだのだ。拍手が巻き起こった。それは、坪井へのねぎらいと、尊敬と、連帯の表明だったのではないだろうか。もう私は勝敗などどうでもよくなってきた。土台、トライアスロン同好会の精鋭を並べたようなチームになど、端から太刀打ちできない。にもかかわらず、成城はよく戦っている…。



アンカーはスキー部丸山君。  
～みんなの声援を受ける～

しかし、勝負は無情である。タスキは繋げねばならぬ。試合はまだ終わっていなかった。成城は、なおも遅れをとった。ランナーはトップに大きく水を開けられ、すでに周回遅れとなっていた。他大は次々と健脚を見せつけて通り過ぎる。しかし成城の走者は来ない。応援の声だけがむなしく響いた。情なかった。そのうち他大のアンカーは一枚また一枚とゴールして行った。しかし、成城は来ない。姿を見せない走者を待ちながら、祈るような気持ちで応援を続けた。目の前にいない相手に声援を送るというのも間の抜けた話。恥かしかった。だが、それでも応援を途中で投げ出すわけには行かない。我がアンカーは肉体的疲労と最下位でゴールするしかないという屈辱に耐えながら、ひたすら走り続けているはずであった。泣きたい気持ちで応援を続けた。

すると、にわかにな成城の応援に勢いがついた。他大の応援団が成城の応援に回ってくれたのだ。他大のチームはすべてゴールしたのだ。あとは成城のアンカーのゴールを残すのみ。それを応援してやろうというのだ。

「ガン・バレ・成城!! タッ・タッ・タタタ!!!」。四大学一丸となつての大声援となった。何とありがたいことだろう。そして何と心強いことだろう。「ガン・バレ・成城!! タッ・タッ・タタタ!!!」…。各大学、リーダー、チア、太鼓、ブラス、一般学生入り乱れてのコールの中、成城のアンカーはゴールした。駆け寄り人垣。忽ち彼は胴上げされて、澄み切った秋天に高く舞った。それを囲む拍手の渦。それは四大戦の棒尾を飾るランナーの健闘を讃えての、惜しめない拍手であった。

四大学、成城は何といい仲間に恵まれていたのだろうか。そのエールには目頭が熱くなった。そう言えば、四大戦中、相手チームを譏るような野次は一言も聞かれなかった。第55回大会の大会テーマは、まさに「絆」。この「絆」はいつまでも大切にしていかなければならない…。

こうして今年の四大戦は幕を降ろした。来年は成城が会場校である。ホームで成城はどう戦うか、心して準備にかからねばならない…。戦力を養うことも大事であろう…。しかし、少なくともこの大会において示してくれた三大学の友情にだけはしっかりと応えよう…。心熱くなるもの、心温くなるものを胸に刻んで、私は成城への帰途についた。

～上野先生の「四大戦見聞記」フルバージョンは、[http://www.seijo.ac.jp/students/gakusei/misc/stu\\_mag.html](http://www.seijo.ac.jp/students/gakusei/misc/stu_mag.html) でご覧になれます。～



「ガン・バレ・成城!! タッ・タッ・タタタ!!!」  
～大声援の上野学生部長～



助っ人坪井君。



応援団の皇君と鈴木君四大戦デビュー



## 第5回 JCF 学生映画祭 グランプリ受賞『パラノイア』

2004年3月に開催された第5回JCF学生映画祭において、映画研究部所属の月川 翔(法4D)さんが出品した『パラノイア』が、グランプリを受賞しました。この活躍を賞し、学生活動奨励賞が12月16日に上野学生部長より送られました。

【今後の抱負】 掘り続けること。

【モノを創る時の心構え...、大切にしていることなど】 まずお客さんをバカにしない、ということです。この心構えを忘れなければ説明過剰にならないし無駄も省ける。想像力を喚起させる描き方をできると思うんです。あとは自分と仲間が納得できるものを創るということ。これが一番重要かもしれません。例えば「自己満足かな」と思いながらも抱きあって照明を組んだとする。お客さんというのはよく観ているもので、そういう細かい部分まで気に入ってくれるんです。でも「分かる人にだけ分かればいい」とは決して思わない。だから曖昧なまま逃げたくないしきっちり伝えたい。バランスですね。要は観ている人の心に届けたいんです。ストーリーを理解してもらって「それで？」となるんじゃないかと、魂を揺さぶりたい。そういう作品を創り続けていければいいなあと思います。



### パラノイア

監督：月川 翔  
脚本：月川 翔  
音楽：水城 憲一郎  
照明：伊藤 諒  
助監督：池永 亘



このグランプリ受賞で、JCFスカラシップ制度によりプロのスタッフと共に映画を製作するチャンスを獲得した月川 翔さん(法4D)

### 〈ストーリー〉

峻一はある日ストーリーに付きまわっていた女性を助けるが、その女性の家で彼女の恋人に遭遇。言い掛かりをつけられ口論になり、男を殴り倒して逃げてしまう。しかし男が気を失っている間に女性が何者かに連れ去られ、峻一は疑いの目を向けられる。「なぜ見ず知らずの女性の家にいたのか？」刑事の追求により峻一は追い込まれていく。

## 《四大戦関係受賞者》

12月7日(火)記念講堂で開催の体連総会において上野学生部長より、一般種目優勝者らに表彰状と副賞(3万円)が授与されました。



### 一般種目「卓球混合ダブルス」優勝 チーム「法しつ」

羽賀雄一：文4F & 戸部美紗子：法1H

### 一般種目「軟式庭球女子ダブルス」優勝 チーム「マリユミ」

西村美幸：短2E & 川井真梨子：文2B

### 正式種目「駅伝(女子)」区間賞(第3区間)

佐藤明日美(短2E) 女子マラソン部所属 「激走！」



## 平成16年度 学生活動奨励賞(学生部長賞)受賞者決定!

### 第22回全日本中国語スピーチコンテスト

#### 東京大会 朗読の部 基礎部門 金賞

平成16年10月3日に行われた上記大会において、昨年同部門で銀賞を受賞した尾渡智佳さんが、今大会では金賞に輝きました。その活躍を賞し、今年度も昨年度と同様に学生活動奨励賞が12月16日に上野学生部長より送られました。



尾渡智佳さん(文3D)

来年は、弁論の部に挑戦し、全国大会に進出したいと語っていました。

### 関東大学野球サークルトーナメントベストナイン選抜

野球サークル、ドジャース所属の経2E市原旭旭さん(写真)が上記の大会にてベストナインに選抜され、主将として5月の韓国遠征に参加しました。この活躍を賞し、学生活動奨励賞が送られました。「来年はドジャースで四大戦優勝を目指します」と抱負を語ってくれました。



### 平成16年度 体育部連合会 夏季・秋季等主な成績 水泳部

「関東学生水球リーグ戦」男子3部に2位 2部昇格  
「日本学生選手権水泳競技大会・水球競技」へ出場決定  
四大戦 男子→水球優勝 / 女子→競泳優勝

### 洋弓部(女子)

「関東学生アーチェリー女子リーグ戦」一部Aブロック優勝  
四大戦 女子→優勝

### 合気道部

「関東学生合気道競技個人選手権大会」において  
男子 経4A 宮地 政之 2位  
女子 法4A 北沢 明香 優勝  
「全日本学生合気道乱取り競技大会」において  
女子乱取 経4J 塙 美子 2位  
女子演武(武器) 法4A北沢・経4J塙組 2位

### スキー部(女子)

四大戦 女子→優勝

### 第25回(2004年度)学長賞懸賞論文入賞者発表

本年度は2編の応募があり、厳正な審査の結果、残念ながら入賞作品は選出されませんでした。今年度に限り学長賞懸賞論文委員会特別賞を設け、11月18日(木)に、1号館教務部長室にて、白井審査委員長より賞状および副賞(3万円)が下記の学生に授与されました。

#### 【学長賞懸賞論文委員会特別賞】

「現代における大学教育—魅力ある大学とは—」

文芸学部 3年D組 加藤 秀雄

「マスコミの責任—報道による被害と表現の自由—」

法学部 1年C組 木村 優子

## 硬式庭球部 男女共に「関東大学テニスリーグ」5部優勝！ 女子4部リーグへ昇格！

2004年9月11日から10月10日に開催された、「関東大学テニスリーグ」において、男女共に5部優勝いたしました。男子は昨年6部優勝、5部昇格を果たし、今年も4部昇格を目指し辛い練習に励んできました。接戦の末、5部優勝は果たしましたが、惜しくも4部昇格はなりませんでした。

女子は、昨年5部優勝をしましたが4部昇格を果たせず、とても悔しい思いをしました。今年は「絶対4部昇格！」を目指して、暑い夏も辛いトレーニングを、部員一丸となり、乗り越えてきました。女子はダブルス2本、シングルス5本の計7本で行われ、3校で戦った予選は、2戦とも7-0で勝利し、本戦への出場を果たしました。そして、負けたら終わりという厳しい長いトーナメントを勝ち上がり、決勝はなんと7-0というスコアで優勝しました。その後の入れ替え戦では創価大学に6-1で勝利し、念願の4部昇格を果たしました。決して楽な試合はなかったのですが、どれも危なげのないスコアで勝てたのは、みんなで心をつなげて努力してきた結果だと思っています。

川津杏奈 (文1F)  
鎌田有紀 (法1A)

「ピース！」4部昇格入替戦  
後の最高スマイルショット！



## 「第43回 成城レガッタ」開催される！ ...2004年11月28日(日)

去る11月28日(日)雲一つない青空の下、埼玉県戸田オリンピックボートコースにおいて、体育部連合会本部主催、同漕艇部後援による「第43回成城レガッタ」が開催されました。例年多くの学生諸君が参加していますが、今年度は29チーム約200名が出演。男子・女子・混合に分かれて優勝を競いました。表彰式では学長代理として出席された大沼法学部長より、賞状ならびに副賞が各優勝チームに手渡されました。

### 優勝チーム

#### 男子の部

優勝すればそれなくイケメン  
(ワンダーフォーゲル部)

#### 女子の部

とどちゃんず  
(女子バスケットボール部)

#### 混合の部

快速！すりこぎ号  
(田中ゼミナール有志)



男子優勝チーム



はじめてでも大丈夫！

## サッカー部 東京都1部リーグへの昇格決定！

2004年9月5日～10月24日の各日曜日に開催された「2004年第37回東京都大学サッカー2部秋季リーグ戦」において、8チーム中3位という成績をおさめ、見事来年度の東京都1部リーグへの昇格が決定いたしました。

今年は関東大学リーグの再編の年のため、関東大学リーグへの昇格をかけて関東大会に出場した東京都1部リーグの6チームの結果次第で、東京都2部から1部へ昇格するチーム数が決定するという状況でした。そして最終的な関東大会の結果により、我が成城大学は1部への昇格を決めました。今年度は我がチームにとって2年前に全敗に終わった2部リーグへの復帰年ということもあり、選手、監督、コーチ、マネージャーを含めサッカー部に関係するすべての人々が一丸となってリーグ戦各試合に臨みました。初戦の東京経済大学戦に勝利し、続く強豪帝京大、武蔵大戦には連敗してしまいましたが、その後の学習院大、立教大、成蹊大戦を3連勝し、雨天中止のため順延されていた最終試合の明治学院大戦を引き分け、最終成績を4勝1分け2敗とし、3位となり全7試合を終えました。

この1部昇格という結果は、日ごろの練習の成果の賜物であり、なにより部員全員の1部昇格への強い気持ちが実を結んだものであると思います。

麻生 忠 (文1C)



リーグ戦直前3次合宿最終日(伊勢原にて)  
～集中はリラックスができてこそ～

## 漕艇部 「第27回東日本新人選手権漕艇大会」 男子ダブルスカル 第2位！

2004年9月18～19日に戸田オリンピックボートコースにて開催された「第27回東日本新人選手権漕艇大会」男子ダブルスカルにおいて、我が漕艇部の石川正寛(経2D)・小塚郷史(法2F)ペアが(写真)第2位に輝きました。

この競技は二人乗りのボートで1kmの距離を漕ぎます。18日に1回戦、19日に準決勝・決勝があり、26艇の中から決勝戦に勝ち進み、第2位になりました。

おめでとう！



成城レガッタは、学生・教職員、老若男女が熱くゴールを目指す。



男子ダブルスカル  
石川・小塚ペア

成城レガッタ当日に、上野学生部長から第2位のお祝いを受取り、「ニッコリ」。



2005年1月13日から、webでの情報サービスを開始します。

# CampusSquare for web

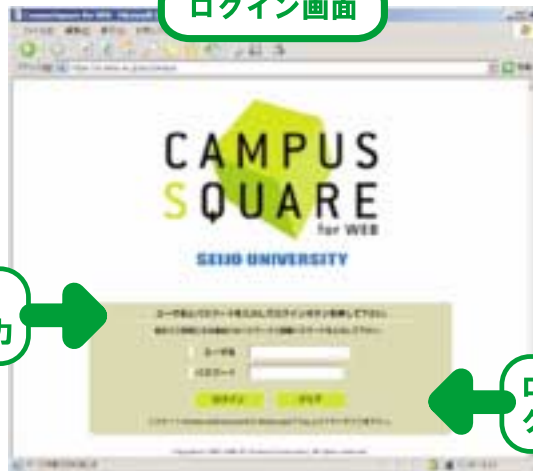
## キャンパススクエア

これは、皆さんが学生生活に必要な情報をインターネットを使用して閲覧・登録できるシステムです。

<https://cs.seijo.ac.jp/>

ユーザー名と初期パスワードは、2005年1月中旬に皆さんの自宅に郵送されます。

ログイン画面



ユーザー名とパスワードを入力

ログインボタンをクリック!

## アクセス方法

1. 成城大学公式ホームページ (<http://www.seijo.ac.jp/>) の在学生のページにあるリンクボタンをクリック  
または、右のURLを直接入力する → <http://cs.seijo.ac.jp/>  
(サイトはセキュリティ保持のため、暗号化されています)
2. ユーザー名と初期パスワードを入力する
3. パスワードを変更する(初期パスワードのままでは利用できません)  
半角で6文字以上のパスワードに変更して下さい。

日本語・全角文字は使用できません  
英数字を必ず1文字以上使用して下さい  
英字の大文字小文字は区別されます

※大学内のパソコンでインターネットを利用するには、講習会を受講してIDを取得する必要があります。

今までに増った伝統を超えて、  
より創造的に、より革新的に・・・  
ここから新しい成城大学が始まります



パスワードの変更が正常に終了するとこのような画面が表示されます

**あなたの名前（フルネーム）が表示されます**

**パスワードの再度の変更やログアウトを行うボタン類です**

**現在使用できるメニューが表示されます**

**大学からのお知らせが表示されます**

今回公開されるメニューは下記のものです

- ・学籍情報参照（学校に登録されているあなたの情報）
- ・履修状況（あなたの履修登録した時間割の参照）
- ・就職活動関連メニュー
  - ・求人票
  - ・企業の基本情報
  - ・学内エントリーシート 等々

皆さんの個人情報が掲載されている場合がありますので、  
パソコンから離れるときは必ずログアウトし、ブラウザを閉じて下さい。  
また、パスワードは決して他人に知られることのないように注意して下さい。



## 教務部

### 卒業確定者の発表について

大学及び短期大学の卒業確定者の発表は、以下のとおり掲示にて行います。

|     |        |          |       |
|-----|--------|----------|-------|
| 日 時 | 経済学部   | 2月23日(水) | 午前10時 |
|     | 文芸学部   | 2月24日(木) | 午前10時 |
|     | 法学部    | 2月24日(木) | 午前10時 |
|     | 短期大学部  | 2月23日(水) | 午前10時 |
|     | (含専攻科) |          |       |

場 所 1号館学生ホール内掲示板

※掲示発表に氏名のない学生は、学生証を持参の上、教務部学務課で必要な指示を受けてください。

### 平成16年度成績表送付について

～教務部学務課・学生部～

今年度成績表は、平成16年度卒業確定者には、3月23日の卒業式当日に各担任から手渡します。来年度も在学する学生には、3月14日(月)現在で学生部に届け出のなされている本人の住所宛に3月31日に発送します。

住所変更を届け出ていないと成績表があなたの手元に届かないこととなりますので、現在、大学に届け出ている本人・保護者の住所、電話番号などに変更が生じた場合は、速やかに学生部窓口にて手続きをしてください。

なお、3月15日以降に転居する予定がある場合は、学生部に申し出てください。成績表は、送付せずに4月6日から教務部学務課窓口で配布します。その際は、学生証が必要です。

### 進級確定者の発表について

大学及び短期大学の進級確定者の発表は、以下のとおり掲示にて行います。

|     |       |          |       |
|-----|-------|----------|-------|
| 日 時 | 経済学部  | 3月11日(金) | 午前10時 |
|     | 文芸学部  | 3月12日(土) | 午前10時 |
|     | 法学部   | 3月14日(月) | 午前10時 |
|     | 短期大学部 | 3月10日(木) | 午前10時 |

場 所 1号館学生ホール内掲示板

※掲示発表に氏名のない学生は、学生証を持参の上、教務部学務課で必要な指示を受けてください。

### 平成17年度

#### 開講および履修手引・シラバスの配布

■開講日 4月11日(月)

■新年度の履修の手引き・シラバスの配布

配布期間：4月6日(水)～9日(土)

午前9時～午後4時

配布場所：大学7号館1階教室(詳細提示)

配布物：①履修の手引き・シラバス

②授業時間割表

③履修科目登録用紙等

④在籍確認シール

受け取る際には、学生証が必要です。

### 平成16年度 卒業・修了確定者の証明書発行について

平成16年度卒業・修了確定者の証明書(卒業・修了・成績)発行について、申込日時・交付希望日によって手続き方法が異なりますので、希望者は以下に従って手続きを行ってください。(但し、英文証明書は約1週間かかります。)

#### 1. 卒業式・学位授与式(3月23日)当日に証明書交付を希望する場合

※申込期間：上記の卒業確定者発表日～3月18日(金)午後4時30分まで

※申込方法：(A)

①就職部で、交付願に必要な事項を記入の上必要な証紙を貼付し、受領印を受ける。

②教務部学務課に、①の手続きが済んだ交付願を提出する。

③教務部学務課で、卒業式当日に申請した証明書を受領する。

#### 2. 3月19日(土)～卒業式当日(3月23日)までに申請した場合

※申込方法：手続き方法は(A)と同じ。ただし、発行は3月26日(土)以降。

#### 3. 3月24日(木)～3月31日(木)に申請する場合

※申請方法：教務部学務課で全て受け付け、発行します。発行には数日かかります。

#### 4. 4月1日(金)以降に申請する場合

※申込方法：教務部学務課で全て受け付け、少し時間をいただきますが、当日発行します。

国際交流委員会  
～国際交流室～

2005年度 交換留学生募集

留学生交流協定に基づき、2005年度派遣交換留学生を下記より募集します。

1. 交換留学先・募集人数：  
アメリカ/ウィスコンシン大学・ミルウォーキー校 (UWM) 1名  
フランス/マルク・ブロック大学 (UMB) 1名  
ベルギー/ルーヴェン・カトリック大学 (KUL) 2名
2. 留学期間：2005年9月～2006年7月
3. 応募書類配布：国際交流室(2号館1階)にて配布中
4. 応募受付期間：2005年1月11日(火)～2005年1月31日(月)  
受付場所：国際交流室(平日9時～16時、土曜日9時～13時)
5. 応募資格  
UWM：大学学部生/TOEFL 173点以上  
UMB：大学院生、大学学部生/仏検2級以上また DELF A4以上  
UKL：大学院生、大学学部生/TOEFL 197点以上
6. 併願：英語受験の留学先については、志望順位を付けて可
7. 選考方法：書類審査、筆記試験(英語・仏語)、面接試験  
試験日：2005年2月15日(火)  
※時間、会場などについては応募者に追って通知。

2005年カナダ英語短期研修(第一次募集)

- 研修主催：(株)UTS(ユニテッド・ユニバーシティ・サービス)国際教育センター  
実施大学：アルバータ州立大学(カナダ、エドモントン)  
期間：2005年7月29日(金)～8月21日(日)：23泊24日  
単位認定：年度初めに履修登録をしておけば、修了試験の成績次第で後期の単位として認定されます。所属学部のシラバスを参照して下さい。  
参加費用：498,000円(「成城大学提携教育ローン」の利用も可能です)  
宿 舎：大学寮…2週間、ホームステイ…1週間  
課外活動：カナディアンロッキー2泊3日小旅行など多彩  
(費用に含まれています)  
第一次募集人数：計15名(学部生)  
(定員は計30名ですが第二次募集15名は原則として新入生対象)  
最少催行人員：第一次、二次募集計で15名  
応募締切：2005年1月15日(土)

2005年度中国語短期研修

- 研修主催：(株)毎日コミュニケーションズ 海外事業部  
実施大学：復旦大学(中国、上海)  
期間：2005年2月19日(土)～3月13日(日)：22泊23日  
単位認定：翌年度始めに履修登録すれば、研修修了試験の成績次第で前期の単位として認定されます。所属学部のシラバスを参照して下さい。  
参加費用：240,000円(「成城大学提携教育ローン」の利用も可能です)  
課外活動：南京へ泊二日の小旅行など多彩(費用に含まれています)  
募集人数：計30名(学部および短期大学部生)  
最少催行人員：15名  
応募締切：2005年1月15日(土)

国際交流室に詳しいパンフレットがあります。

平成16年度学事・行事暦

|           |                     |       |
|-----------|---------------------|-------|
| 12月20日(月) | 文芸学部卒論提出締切          | 16:30 |
| 21日(火)    | 補講日                 |       |
| 22日(水)    | 法学部卒論提出締切           | 16:30 |
|           | 補講日                 |       |
| 24日(金)    | 補講日                 |       |
| 12月25日(土) | ～1月7日(金)：冬季事務休業     |       |
| 1月8日(土)   | 授業開始：月曜日の振替授業       |       |
| 11日(火)    | 短期大学部(含専攻科)卒業制作提出締切 | 16:30 |
| 14日(金)    | 経済学部卒論提出締切          | 16:30 |
| 1月15日(土)  | 大学入試センター試験          | 休講    |
| ～16日(日)   | 大学入試センター試験          |       |
| 17日(月)    | 学年末定期試験開始           |       |
| 29日(土)    | 学年末定期試験終了           |       |
| 2月2日(水)   | 入学試験：短期大学部専攻科       |       |
| 2月10日(木)  | 入学試験：社会イノベーション学部    |       |
| 11日(金)    | ：文芸学部               |       |
| 12日(土)    | ：経済学部               |       |
| 13日(日)    | ：法学部                |       |
| 14日(月)    | ：社会イノベーション学部        |       |
| 2月23日(水)  | 卒業確定者発表             | 10:00 |
|           | 経済学部/短期大学部(含専攻科)    |       |
| 2月24日(木)  | 卒業確定者発表             | 10:00 |
|           | 文芸学部/法学部            |       |
| 3月23日(木)  | 卒業式 於：50周年記念講堂      |       |
|           | 大学                  | 10:00 |
|           | 短期大学部               | 11:30 |
|           | 大学院学位記授与式           | 13:30 |

《サービス施設の年末年始等予定》  
冬季閉館：12月25日(土)～1月7日(金)

図書館：1月8日(土)より平常通り  
※冬休み貸出図書返却期限：1月17日(月)  
※春休み貸出開始：1月28日(金)

トレーニングセンター  
※1月8日(土)～4月9日(土)：10時～18時開館

情報センター：1月11日(火)より平常通り  
※1月8日(土)は平日時間：9時～19時

《閉館日》  
日曜・祝日・入試・卒業式・入学式当日  
※詳細は、HP・掲示などで確認してください。



## 主な関係部署の電話番号

|            |            |              |              |
|------------|------------|--------------|--------------|
| 大学・短期大学部関係 | 教務部        | 教務課          | 03-3482-9045 |
|            |            | 学務課          | 03-3482-9054 |
|            | 学生部        | 学生課          | 03-3482-9081 |
|            |            | 学生相談室        | 03-3482-9086 |
|            |            | 大学保健室        | 03-3482-9085 |
|            |            | トレーニングセンター   | 03-3482-5790 |
|            | 就職部        | 03-3482-9063 |              |
|            | 大学図書館      | 03-3482-3555 |              |
|            | 情報センター     | 03-3482-2165 |              |
|            | LLセンター     | 03-3482-9016 |              |
|            | 国際交流室      | 03-3482-9020 |              |
|            | 総務課        | 03-3482-2101 |              |
|            | 管理課        | 03-3482-9239 |              |
|            | 入試広報部      | 03-3482-9100 |              |
| 学園関係       | 会計課        | 03-3482-1302 |              |
|            | 管財課        | 03-3482-1409 |              |
|            | 学園正門案内所    | 03-3482-1452 |              |
|            | 伊勢原総合グラウンド | 0463-93-0771 |              |

## 卒業記念パーティー開催のお知らせ

～成城大学卒業記念パーティー実行委員会～

昨年復活し大成功を収めました卒業記念パーティーを今年度も開催することが決定したのでお知らせします。お友達をお誘いあわせの上、是非ご参加ください。

日時：3月23日(水) 卒業式当日

開場…18:00

開演…18:00(2時間半)

場所：新宿京王プラザホテル

5階エミネンスホール

参加対象：平成16年度卒業生

会費：予約… 8,000円

当日… 10,000円

申込方法：1月中にダイレクトメールにて

詳しいご案内をいたします。

問合せ先：学友会執行部内

成城大学卒業記念パーティー実行委員会

Tel: 03-3482-9576

## 卒業記念アルバム委員会からのお知らせ

すでに夏休み中に、アルバム申込案内および払込用紙がお手元に届いていると思います。申込は、その払込用紙にてお願いします。紛失している場合は、1号館地下の卒業アルバム委員会部室前に用意してありますので、ご自由にお持ちください。

なお、住所変更があった場合は、アルバムが届かなくなりますので、必ず学生部に届けてください。よろしくお祈りします。

## 個人写真の撮影をしていない方へ

11月末で、業者による個人撮影は終了しました。個人写真の撮影が出来なかった方は、写真提出をしていただくと、卒業アルバムに掲載されます。正面上半身の写真(モノクロorカラー証明用4×3cm)の裏に、大学名・学部・学科・学籍番号・クラス番号・氏名を記入の上、直接アルバム業者の恵雅堂出版に送付してください。

[〒162-0063 新宿区原町1-28/Tel: 03-3203-4754 (担当:石橋氏)]

個人写真提出期限：2005年2月28日

※年内に届いた場合には各クラス名簿順に掲載されます。

※それ以降は、各クラス名簿の最後に掲載されます。

## 編集後記

●この度の新潟県中越地震の被災地へ自らボランティア活動に出かけた在学生数名から申告があった。本学では欠席した授業科目の担当者に公欠扱いの配慮をいたたくよう、学生部長からお願いしたところであるが、無償の奉仕の精神に拍手をおくりたい。もう一つはあまり嬉しくない話題だが、オレオレ詐欺改め振り込め詐欺がまだ止むことがなく、他大学でも多くの事例があるときいていたが、本学でも数件ながら発生を見ている。幸い、ご家庭の適正な判断により実害を被ることはなかったが、架空請求を含め、この手の犯罪には是非冷静に対応いただきたい。年末年始は免許をお持ちの諸君は、健康に留意するのはもちろん、旅行・帰省等自動車で移動する機会も多だろう。こちらも安全運転を心がけてもらいたい。年始は早速学年末定期試験が始まる。健康に留意するのはもちろん、不正行為などに手を染めることなどないよう、正々堂々の受験を。(T)

●社会イノベーション学部が2005年度より創設される。成城イノベーションプログラムとして、「教育改革」「教育環境整備」の各事業計画も予定されている。新世紀成城の船出をイメージして、表紙と2～3頁の写真をヨット部にお願いした。今号は、誌面に載せきれなかった文章・写真などを、ホームページに掲載することにした。情報に関しては、ホームページに掲載されているものも選んで掲載している。今後の本誌の展開も、学生生活のためにイノベーションしていきたい。(R)



## ～今号の表紙～

「小春日和のセーリング。微風の  
時こそ風の変化に敏感に。」

江ノ島をバックに

体育部連合会ヨット部

コメント：比留川大樹(法2F)

撮影：神戸良行(経11)

## 学生生活 205号

発行日 平成16年12月24日

編集・発行 成城大学・成城大学短期大学部 学生部  
〒157-8511 世田谷区成城6-1-20

編集責任者 上野

編集 中村・高田・山本・栗本

印刷 株式会社 芳文社